

No. 2348 金剛山 水分道

2013年1月20日(日) 晴れのち曇り 弱風

参加者：佐々木裕(L)、嶋原、赤井、鎌田(記)

待ち合わせの富田林駅に行くと嶋原さんが車で来ているとの事で、道の駅に車を置いて金剛山に登ることになった。

金剛山は大阪府の最高峰の山で老若男女が年間を通じて賑わいをみせていて登山道も数多くある。今回はその中で距離も時間も最長な部類に入るだろう水分道を登った。

道の駅から道路をしばらく歩き登山道に入る。廃屋の横を抜けた辺りから積雪が現れ始め、一つ目の鉄塔で休憩する頃には一面の銀世界となっていた。植林の中をダラダラと登る登山道は見晴らしが悪く黙々と足を進めるだけだった。青崩道の出合いで青崩道からの多数の登山者によって踏み固められた登山道は滑りやすそうだったのでアイゼンを装着する事にした。セトを過ぎて少しきつい登りを登り切ると待望の樹氷が現れた。

国見城跡の広場には12時を少し過ぎた頃に到着した、広場はお昼時とあつて昼食を食べている人でごった返していた。積雪50cmもあるのに、えらい賑わいだ流石は金剛山。

昼食休憩も終わって帰路をどうするか話し合い、青崩まで出て車道を歩くか、来た道を引き返すかの決断を降りながらする事になった。しかし、セトを少し降った分岐の道標に坊領山と上赤阪城跡を通って森屋に行く道が書いてあり、踏み跡もしっかりついているので、こちらから下山する事になった。この道も植林に囲まれ展望は望め無かったが城跡や砦跡が幾つもあり、昔ここを軍勢が行軍したのかと当時を思い馳せた。

上赤阪城跡から車の置いている道の駅が見える、もう一踏ん張りだ。6時間掛けて1000m登って降るといいう山行でしたがリーダーの佐々木さん、嶋原さん、赤井さん、お疲れさまでした。

行程 道の駅 8:40 - 9:11 登山道入り口 - 9:47 一つ目の鉄塔 - 11:34 セト -
12:07 国見城跡(昼食) 13:15 - 13:43 坊領山への分岐 - 15:45 登山口 -
16:04 道の駅